

機械器具 68 印象採得又は咬合採得用器具  
歯科用咬合器(一般医療機器) JMDNコード 10201000

## SS咬合器

### 【警告】

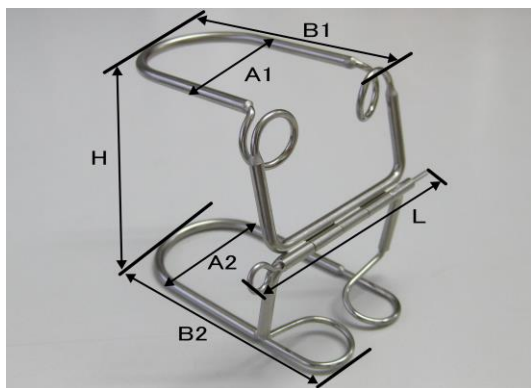
本品は、正しく使用されない場合、ケガ等をする事があります。使用時に使用上の注意の内容をよく読み、正しくご使用下さい。

- ・ 本製品に劣化や異常が発見された場合は、速やかに使用を中止すること
- ・ 本製品の形状変更や改造等はないこと
- ・ 次の薬剤等は使用しないこと  
次亜塩素酸ナトリウム、塩化ベンザル、コニウム、塩化ベンゼトニウム、ポピドヨード、ホルマリン・フェノール、グルコン酸クロルヘキシジン、超酸化水(超酸性水)等、家庭用洗剤、磨き粉、金属ウール、金ブラシ。

### 【形状・構造及び原理等】

#### (1) 構造、形状、寸法:

本品は、上顎フレーム、下顎フレーム、これらを繋ぐコイルばね、蝶番、センターピンより構成される。



上フレームの幅 A 1 (mm) (幅)	42.0±1.0
上フレームの長さ B 1 (mm) (長さ)	61.7±3.5
下フレームの幅 A 2 (mm) (幅)	42.0±1.0
下フレームの長さ B 2 (mm) (長さ)	83.5±3.5
上/下フレームの間隔 H (mm) (高さ)	74.0±4.5
センターピンの長さ L (mm)	74.5±1.0

- (2) 外観: 上顎フレーム、下顎フレーム、コイルばね、蝶番、センターピン共に著しいキズがなく、滑らかな仕上がり。  
(3) 蝶番・センターピン試験: スムーズに動くこと。

### 【使用目的又は効果】

診断及び矯正装置や補綴物の製作に使用し、患者の咬合機能を技工室で再現するのに用いる

### 【使用方法等】

本品は、以下の方法で使う。

- ① SS咬合器の上顎フレーム、下顎フレームに一層分離材(ワセリン等)を塗布する
- ② SS咬合器の上顎フレームに上顎用模型を付着する。このとき、咬合器平面と床が平行になるようにすること。
- ③ つぎに、下顎模型をSS咬合器に付着させる。
- ④ 上下顎模型を左右側方、及び、前方運動させ、不正咬合等

の診断を行う。

- ⑤ 下顎運動のいずれかに不正な咬合接触が発見させた場合は、模型上にて正しく選択削合を行い、歯牙の形態を整える。
- ⑥ 正しく圧接されたワックスを通過どおりカービングし、咬合面形態を完成させる。

### 【使用上の注意】

- ① 薬液消毒を行う時は、薬剤の添付文書に書かれた使用上の注意を守ること。
- ② 器具の寿命を著しく低下させるので粗雑な取り扱いはないこと。
- ③ 本製品は歯科技工用であり、オートクレーブ等の滅菌には対応していません。

### 【保管方法及び有効期間等】

#### [保管方法]

- ・ 本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。
- ・ 本品は湿気・粉塵等の無い場所で、他物よりの衝撃等を受けない様にする。

1

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : (有) 齋藤歯研工業所  
及び製造元  
住所 : 〒520-0524  
滋賀県大津市和邇今宿 817-1  
電話番号 : 077-594-0584  
FAX 番号 : 077-594-2669